

出石
城下町

伝建 かわら版



平成 25 年 8 月 25 日発行 編集／豊岡市・豊岡市教育委員会（政策調整部 出石支所：Tel.0796-52-3111）

見越しの松も美しい、近江商人の町並み 近江八幡市八幡伝建地区先進地視察研修

市、出石まちなみ保存会、出石まちなみ設計士会の共催で、3月12日、先進地視察研修を行いました。行き先は、滋賀県近江八幡市八幡伝建地区。保存会および設計士会の会員、伝建審議会委員など、総勢19名で伺いました。

八幡伝建地区は、安土桃山時代の1585年、豊臣秀次によって城下町として建設され、後に近江商人の商業活動の中心地として発展しました。美しい建物や塀が並ぶなか、「見越しの松」が我々を出迎えてくれました。

歴史情緒たっぷりの景観写真とともに、参加者の感想を掲載させていただきます。



江戸時代を通じて活躍した近江商人（八幡商人）の居宅が並ぶ町並み。敷地の間口が広いので、主屋のほか塀が並び、所々で「見越しの松」が覗いています。

八幡伝建地区 概要

- 重伝建選定：平成3年
- 種別：商家町
- 面積：0.131平方km
- 伝統的建造物
 - ・建築物：185件
（主屋126件、土蔵45件等）
 - ・工作物：93件
（塀56件、石灯籠34件等）
 - ・環境物件：85件
（石垣58件、樹木27件）
- 用語
 - ・見越しの松：塀ぎわにあつて外から見える松の木
 - ・八幡堀：八幡山城築城の際に整備された堀。江戸時代には水運に利用され、近江商人の発展に役立ちました。

「先人たちの遺産を残し、活かす運動」の成果

川見章夫さん(出石まちづくり公社ガイド)

近江八幡市の伝建地域の中心地は、近江商人の発祥地にふさわしく間口の広い商家のたたずまいが残る落ち着いた雰囲気があり、当時の隆盛を感じさせてくれた。

また、八幡堀沿いは堀と石垣・石畳が印象的でまさに時代劇のワンシーンを思わせた。この景観は、八幡堀埋め立て案に対する住民の反対の意志が「先人たちの遺産を残し生かす」運動に結びついた結果、生まれたようだ。

しかしながら、その近江八幡市の伝建地域も次の世代に入り住民意志のコンセンサスが難しいと聞いた。改めて一人でも多くの人が伝建地域に触れ、さまざまに感じる体験が大切だと思った。

見学を通して、出石の特徴である建造物の多様性、伝建地域の面的広がり、住民の町への愛着度などの素晴らしさを再認識した。

住民の総意で出石の特徴をさらに掘り下げ、個性として生かしていくことを願っています。わたしなりに出石の個性・魅力を日々発見したい。



いくつもある飲食店の看板も落ち着いた町並みに貢献していました。この看板は醤油屋さんのもの。

伊崎照夫さん(出石まちなみ保存会 旧役員)

摺り上げ戸のある建物が保存されていました。かつての出石の町も、1階はこのような刷り上げ戸を主体とした開放的で、狭い間口の町家(商家)がたくさん軒を連ねていたのだろうと思わず想像しました。八幡堀の石畳の水辺には情趣がありました。



国重要文化財、旧西川家住宅の刷り上げ戸。ガラス部分と板戸部分に分かれて、柱の溝に沿って摺り上がります。

松井 謙さん(出石まちなみ保存会 役員)

町家を中心にした近江八幡の建物は間口が広く堂々としたたたずまいで風格さえ感じました。

この伝建地区の周りには資料館、記念館といった施設が点在し観光地としてよく整備されている印象を受けました。

また、八幡堀の周辺は石垣、堀、建物全体がうまく調和し心に残る風景でした。が、堀の中の水の汚れが少々残念でした。

研修を終えた帰り道、出石城跡が提灯に照らされ隅櫓が物静かにたたずんでいる姿を見て、「ええがな 出石も!」。楽しい研修会有難うございました。

福富 一さん(出石まちなみ保存会 会員)

白い漆喰壁に焼き杉板壁に統一された商家群、それに八幡堀の運河、どこかなつかしく心安らく都市景観を演出していました。

空き家の活用を考えた町家情報バンクは、市民、不動産業者、行政が一体となった素晴らしい取り組みで、出石でも是非、応用していきたいものです。

古い町並みは、それを愛する人々によって支えられているのだと実感しました。出石独自の新しいユニークな古い町家の活用方法もあるのではないのでしょうか。これからは期待できそうです。

武田将男さん(出石まちなみ保存会 役員)

今回初めて**出石**以外の伝建地区を訪れました。

近江八幡は、近江商人発祥の地でもあり歴史のある城下町で興味をもって参加させて頂きました。幸い天候にも恵まれ絶好の視察研修となりました。

地元の文化観光課の方に説明を受けましたが、住民運動によって八幡堀の埋め立てをせすに残されたことによって、観光客も増えたということで**出石**にも当てはまることがあるのではと感じました。

また、空き家対策に力を入れているということで、**おうみはちまん町家情報バンク**の運営方法が**出石**の伝建地区空き家の利用についても参考になりました。町家について特に出格子の板の太さに感心しました。

丁度節句の時期で、お雛様が江戸時代のものが珍しかったです。

現在伝建事業を14件が実施待ちということで一部は待てないで、独自で実施しているということや、町並み保存会の活動がほとんどなされていないという点がこの地区での課題ではないかと思えます。



「おうみはちまん町家情報バンク」の看板が掲げられた伝統的建造物。空き家の所有者と利用者をつなぎます。

家元 孝さん(出石まちなみ保存会 役員)

近江八幡伝建地区研修に始めて参加して、**出石**とは異なった独特建築様式の表面(表間口)、中、奥座敷、敷き廻りめぐらした敷石土台、格子、格子窓、庭園の配置、見越しの松、漆喰塗壁、火災防止のうだつ等、碁盤目状の整然とした町並み、

八幡堀を守る人々の発想等、昔の**出石**を思い出す楽しい研修会でした。



八幡堀のあたりは、もっとも穏やかなスポットでした。出石にももっと堀が残っていたら・・・。

藤原 石一さん(出石まちなみ保存会 役員)

前区長に声を掛けて頂き参加させて頂きました。事前に資料を頂き、実際現地での研修で意義のある研修でした。漠然とした知識の中で、琵琶湖の南に位置し穀倉地帯で、また近江商人の故郷と思っていました。実際研修参加してみると、昔の面影が色濃く残っており先人たちの労苦が偲ばれ、落ち着いたある素晴らしい場所でした。

強く感じた事は、歴史ある**八幡堀**の景観保存運動の取り組みが市民主導型で取り組まれたことだと思っています。

今後**出石**も景観保全について市民主導型で歴史・文化を育んだ故郷を後世に残していくことが出来ればと、強く感じました。

最後になりましたが多忙な業務のなか時間を作って頂き、説明、案内して頂いた**近江八幡市**職員、西家さんに感謝申し上げます。



参加者のみなさま、お疲れさまでした。出石も負けてはいられません、頑張ってい町を作っていきましょう！



出石まちなみ保存会情報

平成27年度の「全国町並みゼミ開催」を見据えて

4月15日、出石まちなみ保存会の平成25年度第1回役員会が開催されました。

平成27年度に豊岡市で「全国町並みゼミ豊岡大会」が開催され、出石もメイン会場の一つとなることから、今年度は町並みゼミを盛り上げる講演会を開催することになりました。

【平成25年度 役員】(敬称略)

役職	氏名	地区
会長	小畑 宏明	魚屋
副会長	高品 宣良	本町
事務局長	木村 孝之	八木
会計	西池 匡	内町
理事	松井 謙	材木
"	澤田 彰	魚屋
"	大林 誠	内町
"	上坂 泰三	八木
"	山口 和一	本町
"	武田 将男	宵田
"	藤原 石一	宵田
"	家元 孝	田結庄
監事	中村 英夫	材木
"	安田 圭介	田結庄

【決算・予算】

収入の部

(単位：円)

科目	H24 決算額	H25 予算額	摘要
負担金	70,000	70,000	10,000×7地区
特別負担金	19,000	10,000	視察研修負担金
繰越金	88,923	126,097	前年度繰越金
雑収入	22	903	預金利息
合計	177,945	207,000	

支出の部

(単位：円)

科目	H24 決算額	H25 予算額	摘要
会議費	1,638	10,000	役員会費
事業費	45,210	130,000	
事業開催費	7,500	20,000	講演会会場借上
研修費	32,235	95,000	H24は近江八幡市
広報費	5,475	15,000	チラシ作成費
旅費	0	50,000	研修旅費
事務費	5,000	7,000	コピー代等
予備費	0	10,000	予備費
合計	51,848	207,000	
収支	126,097	±0	



出石らしさをどう伝えるか

～出石・町家フォーラム～

3月10日、出石まちなみ設計士会主催により、「出石・町家フォーラム」が福住地区交流センターで開催されました。京都府立大学の犬場教授の講演と関係者によるパネルディスカッションが行われるとともに、会員が作成された「出石伝統的町家外観デザイン集」が発表されました。

出石の町並みを形成する伝統的建造物のデザインの素晴らしさを再認識するとともに、それら出石固有のデザインと、単に和風だったり民芸調だったりするデザインとの違いを認識することの重要性が浮かび上がりました。

飛騨古川の全国町並みゼミの成果

～今年の「でんけん講演会」の内容決定～

8月20日、出石まちなみ保存会四役会が開催され、今年は次のとおり「でんけん講演会」を開催することが決められました。

- とき 9月28日(土) 13:30～
- ところ 出石支所 大会議室
- 演題 「町並みを活かしたまちづくりと全国町並みゼミ開催について」
- 講師 飛騨市まちづくり委員会景観形成部会長 柳七郎氏

15:10から「修理現場見学会」も開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。